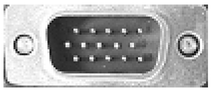
口頭発表における液晶プロジェクターの使用について

日本鳥学会 2006 年度大会では、口頭発表・ポスタートークのために液晶プロジェクターを準備します。下記の事項を遵守してご使用ください。

【大会実行委員会で用意するもの】



・ＰＣ（ＯＳ：Windows XP）（事前確認時事項を参照）
・液晶プロジェクター
・接続ケーブル（コネクタはミニ D-Sub15 ピン端子(オス)） ⇒ ミニ D-Sub15 ピン端子(オス)
・モニタ切替器（ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲ SW-EV4、4 台の PC の切替ができます）
・レーザポインター付プレゼン用リモコン
・OHP（OHP による発表希望者のみ）

【事前確認事項】

①設置機器

●大会実行委員会準備の PC
インストールソフト：Power point viewer 2003、Windows Media Player
→Power point viewer は閲覧専用ソフトであり、新規作成・修正はできません。Windows 版以外の PowerPoint で作成いただいた場合、文字化けや文字の表示にずれが生じることがあります。必ず、「事前チェック」、「Windows 版で読み込めるファイルの持参」をお願いします。

●接続ケーブル
大会実行委員会準備のコネクタと持参される PC の映像出力端子が異なる場合、接続アダプターはご自身でご用意下さい。

②動画使用の場合

●ご自身の PC を用意されることをお勧めいたします。
→事務局準備の PC を使用された場合、動画ファイルサイズが大きすぎる等、種々の原因により動画を再生できない、動作が不安定になる等のトラブルが発生することが予想されます。

●事務局で音声信号を増幅する機材を別途用意することはいたしません。
→講演会場内のマイクスピーカーシステムを利用していただくか、無い場合は、ご自分で用意していただくことになります。

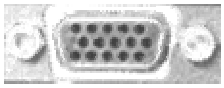
③バックアップ用ファイル（a～c の中より、2 種類以上用意願います）

事前に Virus Check を行った上、データをご持参願います。

ａ．ご自分の PC（推奨） <Mini D-sub15 ピン 3 列にて接続できる状態にて>
ｂ．USB メモリ・・・USB1.1 または USB2.0（大会準備の PC は USB2.0 ポートです）
ｃ．CD-R
※対応不可のメディア：CD-RW、FD、ポータブルハードディスク等、ドライバーが必要となる機器

④ご持参の PC について

●ご使用予定の PC の映像出力端子（ミニ D-Sub15 ピン端子(メス)）が異なる場合は接続アダプタをご自身でご用意ください。） ⇒



ミニ D-Sub15 ピン端子(メス)

● PC の表示を液晶プロジェクターの解像度 XGA（1024×768）に合わせておいてください。

【データファイルの備付 PC へのコピー】

●16 日（土）午前中の口頭発表者
16 日（土）8：30～9：00 までに各会場に備付 PC にデータを移し、動作確認を行ってください。

●16 日（土）午後の口頭発表者・ポスタートーク発表者
16 日（土）8：30～12：45 までに各会場に備付 PC にデータを移し、動作確認を行ってください。なお、午前中は、午前中発表者を優先します。

●18 日（月）午前中の口頭発表者
18 日（月）の 9：00 までに各会場に備付 PC にデータを移し、動作確認を行ってください。

【注意事項】

講演時におけるトラブルを極力避けるために、下記の注意事項をよくお読みください。

（1）発表当日

・データファイル持参の方は発表前に必ず備付ＰＣにデータをコピーして下さい。
・持参ＰＣをお使いの方は、できるだけセッションの前にモニタ切替器に接続しておいてください。講演が始まったら、質疑応答中に接続するようにしてください（演者交代の手順参照）。
・本大会では口頭発表 1 件につき発表時間 12 分、質疑応答/交代時間 2 分 30 秒を厳守していただきます。予想外の PC 再起動などに要する時間も講演時間（合計 14 分 30 秒）に含まれますのでご注意ください（PC 設定ミス等が原因の時間延長は認められません）。
・PC の操作は演者ご自身あるいは共同発表者などの協力で行ってください。

(2) 接続に関する補足

(2-1) はじめに

・PC に液晶プロジェクターを接続しただけでは、PC の画面は投影できません。
・講演までにご使用の PC の説明書を熟読し、外部モニタへの正しい接続・切り替えの方法を確認してください。
・ここでは、一般的な接続・設定の方法を説明します。PC の機種ごとに相違がありますから、この説明だけを頼りにしてはいけません。
・Windows 機でも Mac OS 機でも、PC を再起動せずに切り替える方法があります。他の演者の持ち時間を食いつぶさないのはもちろんのこと、ご自身の持ち時間を食いつぶさないよう、手元の普通のモニタなどに接続して練習しておきましょう。

(2-2) 演者交替の手順

液晶プロジェクターにはモニタ切替器を介して、液晶プロジェクター1 台に対して 4 台の PC が接続されるようにしてあります。
演者交替手順の概要は次のようになります。
1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 前の演題までにPC が起動した状態で､空いている接続ケーブルを自分のPC に接続します。
3. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替え、液晶プロジェクターに自分の画面を表示させます。
4. 自分の演題が終わったら、自分の PC から接続ケーブルを外します。
* 接続開始の目安は、自分の発表の 3 つ手前の発表から。

(2-3) 機種ごとの具体的な手順

機種ごとの具体的な手順を以降に示します。

(2-3-1 Windows 機)

Windows 機では､外部モニタが接続されているとき､内蔵モニタまたは外部モニタのいずれか､あるいは同一の画面をその両方に表示できます。連続した画面を両方に表示できる機種もあります。
注意：Windows 機は機種による機能や操作法の差異が特に大きいので、取扱説明書で操作法をよく確認してください。
1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 前の演題までに PC が起動した状態で、空いている接続ケーブルを接続します。
3. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替えます。
4. Fn+F3（Fn キーと F3 キーを同時に押す）で画面の表示先を液晶プロジェクターに切り替えます。Fn+F3 を押すごとに、内蔵→外部→両方→内蔵…と、順に切り替わります。

注意：メーカーや機種により、Fn+F5 だったりして、バラバラです。取扱説明書で操作法をよく確認してください。

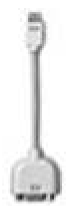
5. 自分の演題が終わったら、画面表示を Fn+F3 で内蔵モニタに戻し、接続ケーブルを取り外してください。

注意：表示を戻してから切り替えないと、再起動しても内蔵モニタに表示されないことがあります。

(2-3-2 Mac OS 機(VGA ディスプレイアダプタを使う機種))

外部モニタの接続に VGA ディスプレイアダプタ（右下図）を使う機種（下記）の場合、PC が起動状態のままアダプタを接続すれば、自動的にビデオミラーリングモードに切り替わります。

・VGA ビデオ出力ポートを装備した iBook
・eMac
・G4 プロセッサを搭載した iMac



アダプタはご持参ください

1. 前の演題までに PC を起動し､講演に必要な書類やプログラム

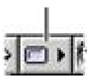
を開いておきます。
2. 前の演題までに PC が起動した状態で、接続ケーブルをアダプタ
に接続し、アダプタを PC の VGA ビデオ出力ポートに接続します。
3. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替えます。
4. 自分の演題が終わったら、接続ケーブルを取り外してください。

(2-3-3 その他の Mac OS 機)

Mac OS 機では、外部モニタが接続されているとき、内蔵モニタと外部モニタに連続した画面（デュアルディスプレイモード）または、同一の画面（ビデオミラーリング）のいずれかを表示できます。

1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
VGA ディスプレイアダプタ（各自でご持参ください）
2. PC をスリープの状態にします。
注意：PC が起動するとき、またはスリープの状態が解除されるときに外部モニタが接続されていないと、外部モニタは認識されません。
3. 前の演題までに、空いている接続ケーブルを PC の後部にある外部モニタポートにつなぎます。
DVI ポートを装備した PowerBook G4 や Power Mac G4 の場合には、DVI-VGA アダプタを介して接続します。
4. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替えます
5. スリープ機能を解除します。液晶プロジェクターに画面が表示されます。
6. はじめ PC は自動的にデュアルディスプレイモードになっています。PC のモニタと液晶プロジェクターに同じ画像を表示するためには、コントロールバーの「ビデオミラーリング」ボタンを使用します。

ビデオミラーリング



注意：このボタンは外部ディスプレーが接続されているときだけコントロールバーに表示されます。

7. 自分の演題が終わったら、PC をスリープの状態にし、接続ケーブルを取り外してください。

(2-3-4 その他)

・不安定な PC を使うのはトラブルの元です。PC の具合が悪かったらソフトウエアをインストールし直すなどして、調子を整えておきましょう。
・講演中に PC が省電力モードになって画面が消えたりしないよう、PC の設定を省電力モードにならないように変更しておきましょう。

引用：北関東医学会　–液晶プロジェクターの使用について-